

セッション2

トップファンのプロモーションムービー お披露目

トップファン

慶応大学
SFC

平田 匠 さん

トップファン

東京工科大学
デザイン学部

手塚 翔己 さん

トップファン

國學院大学
人間開発学部

幡野 富山水 さん

学生団体トップファン PR動画プロジェクト

学生団体トップファン

手塚翔己
幡野富山水
平田匠

発表の流れ

①概要

②メンバー紹介

③動機

④コンセプト

⑤完成映像

⑥最後に

概要

学生団体トッポファンの公式PR映像の作成。

約1分30秒の短編映像と約5分の長編映像を制作した。

学生たちでアイデアを出し合い、企画・撮影・編集を行った。(株式会社グッドウェイ様にバックアップをして頂きました)

作成した動画は本フォーラムで初公開した後、公式ホームページやその他PRのために活用予定。

メンバー紹介



手塚翔己 SHOKI TEZUKA

東京工科大学デザイン学部 4年

映像デザイン、グラフィックデザインに興味があり、大学ではCMやデジタルサイネージなどの映像制作、ロゴデザインなどのデザインについて実践的に学んでいる。短編担当。



幡野富山水 FUHO HATANO

國學院大学人間開発学部 4年

メディア系に興味があり、将来山梨のドラマ制作を行いたいと考えている。

就職活動の中でメディア系の企業に、自己PR動画などを数回企画作成。統括を行った。



平田匠 TAKUMI HIRATA

慶應義塾大学環境情報学部 4年

独学でデザインを学び、トップファンのロゴなどを制作した。

最近では有志で立ち上げた劇団の短編映画を編集した。長編担当。

動機

学生団体トップファン立ち上げから約1年。

HPの作成やSNSの運用は行っているが、

活動内容をまとめて報告したり、普段の活動の

様子をありのまま伝えたりするのが難しい。。

動機

学生団体トップファン立ち上げから約1年。

HPの作成やSNSの運用は行っているが、
活動内容をまとめて報告したり、普段の活動の
様子をありのまま伝えたりするのが難しい。。

映像を使って活動内容をダイレクトに！

コンセプト

映像を観た誰しものが、
団体・延いては山梨の
トップファンになるような
PR動画を作成する。

コンセプト

〈短編のコンセプトと工夫した点〉

短い時間の中で **トップファンメンバーが笑顔で生々と活動している姿**を映像の中で表現することを意識して取り組みました。

トップファンが**若い世代の活躍できる楽しい団体である**というイメージを「学生団体トップファン」のタイトルやテロップなどのモーションからも伝えたいと考え、堅苦しくなく、親しみのある動きにする事にこだわりました。

また、文字の色やテロップなどトップファンのイメージカラーである**緑色**を使う事で全体的にバランスをとる事も意識しました。

最後は「**やまなしでジブンらしく**」という制作する上で設定したテーマをメンバーが活動する写真の上に表示させることで、テーマの意味を強調させ、説得力を生み出すことを心がけました。

コンセプト

〈長編のコンセプトと工夫した点〉

長編は尺を生かし、序盤の映像を物語風に仕上げました。

東京で活動しているメンバーが、トップファンの活動拠点である、蕪崎に帰ってくるというストーリーです。楽しそうに活動するメンバーが迎え入れてくれるイメージを表現し、実際にトップファンに入ったような一人称の視点を大切にしました。

そこからドローンを使って撮影した蕪崎の街並みをオープニングに持ってきました。構想段階からすごく作りたかったシーンで、寄りの画角から、引きの画角に持っていくことで、蕪崎の雄大さや懐かしさを表現しました。青空に富士山、そしてロゴという流れで、山梨らしさを出すことにも注力しました。

後半部分では、代表2人によるメッセージと活動紹介を挿入し、初めて見た人でもトップファンがどんな活動をしているのか伝わるよう工夫しました。

テキストで伝わりづらい部分はテロップとナレーションで補うよう心掛けました。

完成映像

映像が流れるまで少々お待ちください。

最後に

映像をご覧いただき
ありがとうございました

最後に

この動画が山梨、
さらには全国に拡散され
山梨のトップファンが
増えることになれば幸いです

最後に

動画を制作するにあたり
藤野様をはじめとするグッドウェイの皆様には
多大なるご支援・ご協力を頂きました
この場を借りて改めて御礼申し上げます

最後に

ご清聴ありがとうございました